

心に太陽を

一人一人が笑顔で 楽しく学校生活を送るために ～なかよし旬間より～

5月15日(月)から26日(金)まで「なかよし旬間」です。この旬間では、「認め合い、支え合いのできる学級、学校」をめざし「なかよし郵便」「1年生を迎える会」「人権教育に視点をあてた授業」などに取り組みました。また、校長先生の講話では、「天国と地獄」のお話を通して「一人一人が笑顔で楽しく学校生活を送っていくために大切なこと」について考え合いました。今回は、校長先生のお話や1年生を迎える会について紹介いたします。

校長講話 ～なかよし旬間よせて～「天国と地獄」

はじめに、今年から連絡帳を止めて始めた「わたしノート」(きよならノート)についてお話しします。

- ①きょうのしかけんしん、だいじょうぶだったかな。はのうら、よごれついてるんだけどな。
- ②きょう、せんせいがおにぎりにいっぱいのおおをかけて、すんごくすっぱかったよ。しょうたくんときゆうくんもやばかったよ。こんどはいっぱいかけないでね。
- ③ちょっとまえ、せきがえをしてうしろのせきになったんだ。まえ、せきがまえでくぼんがおおきかったけど、うしろになるとくぼんがちいさく見えるんだ。ふしぎだね。
- ④今日は4時間です。5、6時間目がなくて楽です。朝と二時休み、1年生と遊ばなくてつまらないです。明日は1年生と遊びたいです。職員玄関で掃除をしていると、1年生が手を振ってくれるので、「5、6時間目、がんばるかあ」と元気になるのでうれしいです。

どうでしたか。なぜ始めたかという、皆さんが自分の考えを、自分らしく、自分の言葉で自由に書く力を付けたからです。「自分から、自分らしく、自分の言葉で書く」ことが目標です。書くことは、①考える力、②決め出す力、③表す力も自然に伸ばします。

では、「自分の言葉で」とはどんなことでしょうか。それは例えば「校長先生のバカ…」みたいに自分の本音を書くこと。先生たちは書かれた内容に叱ったり褒めたりしません。字の間違いも直したり、「見ました」みたいなハンコも押しません。安心して本音を書いてください。それから、「遠足に行つて楽しかったです」はみんな知っていること。そうではなくて自分にしか分からない「何が楽しかったのか」を自分の言葉で書く。また文の終わりは、「～です。～でした。～します。～しました」みたいに同じにしないでいい。あなたの気持ちに合った、あなたらしい言葉を選んで書いてほしいな。

さて、今日は「天国と地獄」というお話をします。天国や地獄、知っていますか。

昔々、ある男が閻魔大王に会いに行き、天国と地獄というのは、どういふ世界なのかを聞きました。すると閻魔大王は、男に、天国の様子と地獄の様子をそれぞれ見せてくれました。

まず地獄に行きましたが、地獄には、昔から、鬼や人に悪さをする化け物がいると言われていたので、おそろおそろのぞいてみると、地獄には綺麗な花が咲き、水が流れ、それはそれは美しい場所でした。そして、そこに住む人は私たちと何一つ変わらない普通の人の姿でした。

男が、地獄の道を進んでいくと大きな建物が見えてきました。その建物の中には地獄に住む人たちがたくさんいました。その時、大きな鐘の音が鳴り響き、地獄に住む人たちが大きなテーブルの周りに座り始めました。テーブルの上にはたくさんのおいしい料理が運ばれてきました。どうやら食事の時間ようです。さらに、よく見ると地獄に住む人たちの左手は椅子にしっかりと縛り付けられ、右手には自分の腕よりも長い三尺の箸、今でいうと1mくらいの箸が縛り付けられていました。

食事時にごちそうが運ばれると、その住人は他人に取られてなるものかと、ごちそうめがけて我先に群がります。しかし、1メートルのお箸はあまりにも長すぎて、一生懸命食べようとするのですが、なかなか思うように食べ物自分の口まで運ぶことができません。むきになれざるほどうまくいかず、食べ物はポロポロと下に落ちるばかりでした。箸が長すぎるために隣の人とぶつかり「食べ物が自分の口に入らないのはお前のせいだ!」とか、「俺が食べようとするものを取るんじゃない!」と大声でケンカが始まりました。そうこうしている間に食事終了の合図がなり、テーブルの上にあった美味しそうな料理はグチャグチャに飛び散るひどい有様でした。しかも地獄に住む人たちは一口も食べられないまま食事の時間が終わってしまいました。

ですから地獄にいる人たちはいつも経てもおなか一杯になることはなく、いつもおなかぺこぺこの状態に苦しまなければなりません。地獄に住む人たちの体は痩せてガリガリでした。

次に男は、天国に行きました。天国も地獄と同じで、それは美しいところでした。天国の道を進んでいくと地獄にあった建物と同じ建物が見えてきました。天国に住む人たちも私たちと同じ姿です。中に入ると、ちょうど大きな鐘が鳴り響き、どうやら天国でも食事の時間ようです。地獄と同じように大きなテーブルの周りに天国に住む人たちが座り、たくさんのおいしい料理が運ばれてきました。天国に住む人たちの左手も椅子に縛り付けられ、右手は1mの長い箸が縛り付けられています。さて、いよいよ天国でも食事がスタートしました。ですが、天国に住む人たちはみんな美味しそうに料理を食べています。さて、どうやって天国に住む人たちは料理を食べることができたのでしょうか。

天国に住む人たちは長い箸で食べ物を挟むと向こう側の人の口に入れてあげています。「はい、どうぞ」「美味しい。あなたもいかがですか?」「ありがとうございます」と、向こう側の人もまた食べ物を箸にはさんで、こちらの口に入れてくれるのでした。お互いに自分の箸で向かい相手の口にごちそうを運ぶのです。天国に住む人たちは、このように食事を楽しみ、お互いに「ありがとう」と言い合います。ですから天国にいる人たちはいつもおなか一杯で、いつも笑顔で絶やすことなく、幸せいっぱいなのでした。



同じ箸でも使い方によって、こんなにも違うものなんですね。「天国か地獄」の分かれ道は、どこにあるのでしょうか。このお話には、みんなが仲良く、楽しく生活していくための大切なヒントが隠れていると思います。新しい学年になって1ヶ月が経ちました。一人一人が笑顔で、楽しく学校生活を送っていくには、どんなことを大切にしていけばいいか、考えてみてください。

自分で考えた「大切なこと」を、日頃の生活に生かせるといいですね!

1年生を迎える会がありました



6年生と入場 (1年)



岩小のことをカルタで紹介 (2年)



「遠足楽しいよ」行事を紹介 (3年)



「人気メニュー位はあげパン！」給食を紹介 (4年)



「お気に入りの場所1位は体育館！」 (5年)



「人気の遊びはけいどろ！一緒に遊ぼうね」 (6年)



「1年生になったら」を歌いました (1年)



1年生の発表に自然と手拍子が起こります (全校)

5月19日(金)に、1年生を迎える会が行われました。各学年から岩村田小学校を紹介する内容が発表されました。

発表を見ている1年生は、本当に嬉しそうでした。各学年の発表のおかげで、学校生活に対するワクワクした気持ち、さらに大きく膨らんだ1年生です。1年生の歌の発表が始まると自然と手拍子が起こるなど、岩小児童の温かな気持ちを感じられました。また、退場する際、笑顔で1年生に手を振る6年生の姿が印象的でした。「1年生を迎える会」というより「1年生をお祝いする会」という雰囲気になった会になりました。

岩小コミュニティスクール推進・運営委員の紹介

今年度お世話になる岩小コミュニティスクール推進委員の皆様です。今年度もお力添えをいただきます。なお、運営委員会は5つの支援部で活動をしていきます。よろしくお願いいたします。

推進委	委員長	依田 豊 様 (元岩村田小学校長)	委員	鷹野 禮子 様 (小雀保育園顧問)
	副委員長	細川 保英 様 (岩村田商工会理事)	委員	岩崎 弘 様 (民生児童委員)
	委員	越石 雅雪 様 (Jシ商会代表取締役)	委員	金子賢太郎 様 (岩村田小保護者)
	委員	秋山 元治 様 (元上の城区長)	委員	井出 裕梨 様 (岩村田小保護者)

運営委	学習支援部	依田 (推進委)	PTA 副会長	PTA 学年部長	学校職員
	キャリア教育部	細川 (推進委)	金子 (推進委)	井出 (推進委)	おやじの会代表 学校職員
	読書活動部	鷹野 (推進委)	PTA 副会長	PTA 教養部長	PTA 父親母親委員長 学校職員
	安心安全部	越石 (推進委)	PTA 会長	PTA 校外指導部長	地域見守り隊 学校職員
	環境整備部	秋山 (推進委)	岩崎 (推進委)	PTA 副会長	PTA 施設部長 学校職員

今後の主な予定

<6月>	<7月>
1日(木) 音楽会特別時間割開始	6日(木) 参観日(低学年)
1日(木) 血液検査(4・6年)	7日(金) 支部子ども会
6日(月) 内科検診(1年)	13日(木) 楓の日①
8日(木) 耳鼻科検診①	14日(金) 参観日(高)
13日(火) 防犯教室	26日(水) 1学期終業式
16日(金) 校内音楽会(午前:児童のみ 午後:保護者)	27日(木) 夏休み(7/27~8/21)
19日(月) 内科検診(6年)	
22日(木) 耳鼻科検診②	
27日(火)~28日(水) 5学年 キャンプ	
29日(木) 5学年 計画休業	
30日(金) プール開き	